



2 0 2 0 年 2 月 1 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 西 労 組 第 3 8 回 中 央 委 員 会 開 催

安 心 し て 意 欲 を 持 っ て 働 き 続 け る こ と の で き る 環 境 づ く り へ

J R 西 労 組 は、2 月 7 日、大 阪 市 内 で 第 3 8 回 中 央 委 員 会 を 開 催 し、当 面 す る 活 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。



冒 頭、本 年 4 月 に 発 生 か ら 1 5 年 を 迎 え る 福 知 山 線 列 車 事 故 の ご 被 害 者 に 対 し て 参 加 者 全 員 で 黙 祷 を 捧 げ た。そ の 後、執 行 部 を 代 表 し て 上 村 良 成 中 央 執 行 委 員 長 (J R 連 合 副 会 長) が 挨拶 に 立 ち、こ の 間 の 安 全 の 取 り 組 み に よ り 安 全 性 が 向 上 し て い る と し つ つ、「入 社 時 期 や 地 域 に よ っ て 安 全 意 識 に 差 が 生 じ て い る」とい う アン ケ ー ト 結 果 に 触 れ た 上 で、「教 訓 化 や 風 化 を 防 ぐ 取 り 組 み を 地 方 ご と に 一 工 夫 し な が ら 行 う こ と が 重 要」と 訴 え た。さ ら に、春 季 生 活 闘 争 に む け て は「長 期 雇 用 を 前 提 と し た 安 定 的 な 成 果 配 分 の 重 要 性 を 訴 え る」と し、グ ル ー プ 春 闘 に つ い て も「J R 西 日 本 連 合 と の 連 携 を 深 め、危 機 感 を も っ て 昨 年 以 上 に 相 乗 効 果 を 発 揮 で き る よ う 全 力 を 挙 げ る」と 強 く 決 意 を 語 っ た。

来 賓 に は、近 畿 交 運 労 協、交 運 共 済 西 日 本 事 業 本 部、明 治 安 田 生 命 か ら 出 席 が あ り、J R 連 合 か ら は 中 村 鉄 平 交 通 政 策 部 長 が 参 加 し、そ れ ぞ れ の 立 場 か ら 激 励 と 連 帯 の 挨拶 を 行 っ た。

議 事 で は、執 行 部 か ら 提 案 さ れ た 活 動 方 針 (案) に 対 し て、1 4 人 の 中 央 委 員 ・ 特 別 中 央 委 員 か ら、安 全 の 確 立、春 季 生 活 闘 争、民 主 化 闘 争、組 織 課 題、政 策 課 題、政 治 の 取 り 組 み、業 務 課 題、さ ら に は 巷 で 大 き な 問 題 と な っ て い る 「コ ロ ナ ウ イ ル ス」に 関 す る 発 言 な ど が 出 さ れ た。こ れ ら に 対 す る 執 行 部 答 弁 及 び 羽 野 敦 之 書 記 長 の 総 括 答 弁 を 経 て、全 議 案 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。な お、2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 に つ い て は、「ベ ー ス ア ッ プ 3, 0 0 0 円 を 含 む 月 例 賃 金 総 額 6, 0 0 0 円 以 上 の 引 き 上 げ」「年 間 臨 給 5. 7 箇 月」と と も に、諸 手 当 や 総 合 生 活 改 善 等 の 要 求 を 掲 げ て 取 り 組 む こ と を 決 定 。

委 員 会 宣 言 を 採 択 の 後、上 村 委 員 長 の 団 結 ガ ン バ ロ ー で 閉 会 し た。